

辺田本町線の整備により中心商店街の歩行者数が倍増



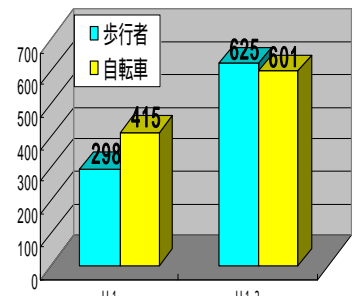
坂東市(旧岩井市)の中心市街地は、古くから商店や住宅が密集しており、沿道には歩道がなく、電柱と電線の影響で非常に悪い景観でありました。

そこで、平成元年から街路事業に着手し、歩道の設置、電線類の地中化、歩道のグレードアップ等の整備を行いました。

その結果、買い物客が安全で快適に歩けるようになり、平成13年には自転車数で1.4倍、歩行者数で2.1倍に増加しました。

又、街路の整備により、商店街が開催するイベント数も増加しており、中心市街地の活性化に寄与しています。

人・台/12時間



【歩行者・自転車数の推移】



整備前



商店街のイベント状況

辺田本町線 整備概要

- ・第1期事業L=500m H7完了
- ・第2期事業L=895m 事業中
- 歩道幅w=3.5m+
- (:約1.5mセットバック)